

集い・交わり・語らい・楽しむコミュニティゾーン

伯耆しあわせの郷だより

【発行】 伯耆しあわせの郷 ☎ 26 - 5581 <http://www.shiawasenosato.jp>
 指定管理者 旭ビル管理株式会社



まばゆい新緑の季節、つい先日までピンクの美しい花をつけていたソメイヨシノですが、深い緑の葉を付けた桜の木もまた美しいと感じます。

「記念すべき300号となりました」

まばゆいばかりの新緑の季節の到来です。伯耆しあわせの郷だよりも今月号で丁度300号となりました。年数でいえば25年という事になります。25年と言えば四半世紀、代でいえば1代の目安となる数字です。これを見ても長らく市民の皆様にあいさつされてきたことが良くわかります。

さて、当施設では、これから夏に向けた小学生向けの教室の準備やスポーツ教室2期目の募集準備等が始まります。また、しだれ桜の会では活動報告のために広島に出向いたりします。これから湿度が高くなり、じめじめとした梅雨の季節が始まります。最近では、春の気持ちの良い季節が短くなって冬からいきなり夏のような気温の高い日が来てしまいます。体調の管理をしっかりとこの時期を乗り越えましょう。

受講生募集

※申し込みは、6月1日（金）から先着順にて受け付け、定員になりしだい締め切ります。
 ※各教室とも、受講料のほかに材料費などが必要です。

教室名・講師	日時	回数	定員	受講料
Café 風ごはんでlunchi! 「新キャバツと桜えびのパスタ他」 管理栄養士 小田 秀さん	6月16日（土） 10:00~13:00	1回	24名	550円
チャイニーズダイニング 「ワンタン・チンジャオロース他」 衛香蓮さん	6月28日（木） 10:00~13:00	1回	24名	550円
初めてのフラワーアレンジ教室 日本フラワーデザイナー協会会員 岡野 光さん	6月30日（土） 10:00~12:00	1回	15名	550円
基礎から学ぶ男性のための料理教室 「アジフライとアジのなめろう他」 管理栄養士 徳重 安枝さん	7月 3日（火） 10:00~13:00	1回	20名	550円

6月の休館日



6 JUN	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

7月開講教室受講生募集

◎受講の申し込みは

6月1日(金)午前9時より先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。

煎茶教室①②

【講師】森 翠美(小笠原流煎茶道教授)

①毎週金曜日 午前10時～12時

②毎週金曜日 午後1時～3時

【期間・回数】7～9月 9回

【定員】15名

【受講料】5,850円



※小笠原流煎茶の『お点前の美しさ』を体得してみませんか。美しい礼儀作法とマナー、おもてなしの心が学べます。野点お茶会や季節の行事を楽しみながらのお稽古もあります。

レザークラフト教室

【講師】西村 都紀世(皮革工芸作家)

毎週火曜日 午前10時～12時

【期間・回数】7～9月 9回

【定員】18名

【受講料】4,950円



※革の裁断から仕上げまで、作品づくりの基礎を学びます。世界で唯一の作品をつくる喜びを感じましょう。

料理教室

【講師】鳥取県調理師連合会

月2回火曜日 午前10時～午後1時

【期間・回数】7～9月 6回

【定員】36名

【受講料】3,300円



※現役の調理師さんから、プロの技を学びます。家庭料理のレパートリーが広がりますよ。

- 受講料は初回全納です。納入された受講料は原則として返金しません。
- 各教室とも、受講料の他に材料費などが必要です。
- 教室は一部変更または中止になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 託児を希望される場合は、教室申し込みのときにご相談ください。
(お子様1人につき、1回200円ご負担いただきます。)

6/30
(土)

初めてのフラワーアレンジ教室

時間 10:00～12:00
受講料 550円 花代1,500円
定員 15名
講師 岡野 光



基本的な「初めてでも使えるテクニック」をお教えしますので、自分流に消化して頂き、隣の作品を見て、感じるその方の、感性を伸ばすお手伝いをする教室です。

チャイニーズダイニング

6/28
(木)

時間 10:00～13:00
受講料 550円 材料費別途
定員 24名
講師 衛 香蓮^{えい こうれん} 中国武術高級講師
メニュー ワンタン・チンジャオロース他



太極拳と気功の指導の為、昨年に続き本年も来日。料理の達人でもある衛氏が中国家庭料理の作り方を指導されます。

昨年度の様子



沢山の方にご来場頂きました。
今年もご来場お待ちしております。

伯耆しあわせの郷
パッチワーク教室作品展

会期/6月9日(土) ▶ 7月1日(日)

会場 伯耆しあわせの郷展示ホール
開館時間 午前9時～午後8時(月曜休館)

教室の生徒の皆さんの、個性あふれる作品の数々を展示します。
是非ご覧下さい。

Dresden Plate

17世紀頃、ドイツの織物の町ドレスデンで発明された織物の模様を細密な縫製でアプレに加工された、多くの婦人たちのあこがれの的になりました。また、ドレスデン地方から移民してきた女性たちが故郷をなつかしんで作ったと言われるのが「ドレスデンプレート」のバターンです。美しい柄布を花びらのように配色しひな籠のようにかわいらしいこともあって、別名「ライジー」でもあります。

【お問い合わせ】
伯耆しあわせの郷
電話 0858-26-5581

毎年好評のパッチワーク教室作品展を、6月9日(7月1日の期間で開催いたします。小物から、大作まで教室の生徒さんたちが、一年間心こめて作られた力作を展示いたしますので、是非ご覧ください。

パッチワーク教室作品展開催

期間 6月9日(土)～7月1日(日)
場所 伯耆しあわせの郷 展示ホール

教室紹介

やさしい編み物教室

第1・3金曜日 午後1時～4時



4月から新しく開講した「やさしい編み物教室」を紹介いたします。現在14名の方に「受講頂いています。プログラムに沿って決められた作品を作るグループと、自分の作りたい物を作るグループに分かれて作品を作っていきます。決められた作品を作るグループは「ネックウオーマー」「帽子」に続いて、3つ目の作品「モチーフつなぎの角座」に取り掛かっておられました。先生は製作のポイントを丁寧に、教えておられました。

自主製作の作品を作られていた受講生の方は、「本をただだけでは解らない所を、何度も先生に尋ねてようやく作品ができていきます。とても楽しく受講しています。」と話されていました。



じっくり、わかりやすく教えますよ!



生徒さんの作品
素敵な帽子が編みあがっています!



古川春美さん作品



西谷美幸さん作品



木綿手紡絛着物
「秋日和」

会期・会場
岡山 5/30～6/3 岡山天満屋
福岡 6/6～6/11 岩田屋本店

福井貞子さん(織物教室講師)の作品が第52回日本伝統工芸染織展に入選されました。この作品展は昭和39年以来、日本工芸会の染織部会展として、芸術的にも価値の高い染織工芸技術の保護・育成と創意ある展開をもとめ、開催されてきたものです。

織物教室先生の作品が日本伝統工芸染織展
日本伝統工芸中国支部展に入選されました。

会期・会場

鳥取会場
6/19(火)～24(日)
午前9時～午後5時
鳥取県立博物館 第3展示室
6/23(土) 14:00～には福井先生による入賞・入選作品の解説があります。

福井先生と一緒に、織物教室初級をご指導して頂いている、西谷美幸さん、古川春美さんの作品が、第61回日本伝統工芸中国支部展に入選されました。

会員・高校生ボランティア総勢22名でお礼肥えをしました

5月19日(土)、しだれ桜の里を育てる会(会長・牧田泰博会員120名)でしだれ桜のお礼肥えや剪定作業を行いました。当日は若干の小雨は降ったものの涼しい気候で順調に作業を行いました。作業は大きな木には1キロ、昨年植えた小さな木には300グラムの肥料(油カス・化成肥料・ヨウリンなどの合成)を1本1本の根元に穴を開け、施していきます、1時間ほどで120本のしだれ桜すべてで完了しました。市内からボランティア参加の米田伸之介さんは、「来年のしだれ桜の開花が楽しみ」と語っておられました。

桜守の佐野藤右衛門氏は「桜の開花は1年間の育成作業の集大成が現れたもの」と言われ育成作業の重要性を説いておられたのを心に留め作業をしました。



『四季のしだれ桜』写真コンテスト優秀作品を展示・表彰

今年度の『四季のしだれ桜』写真コンテストの審査結果が発表されました。受賞者とタイトルは以下のとおりです。(敬称略)

最優秀賞▼森本すま子「花の髪飾り」

入選▼岡本良平「元氣いっぱいいの素」、永田由美子「いっぱいいな秋」、蔵本雅文「桜の下でハイポーズ!」、BYヨシダ賞▼伊藤優治「満天の桜空」・ホテルセントパレス賞▼山中泰偉「風かぜ

ふくよ!」、東宝企業・新あじそう賞▼牧原昭文「春満開」、木田繁数「ジャンプ!」、ハルキ

賞▼中村武「サクラ・キレイネ!」、ものづくり

賞▼「春の包容」

ジュニア賞(提供:㈱ハルキ)▼川部南実「シ

ゲじーじと撮影会」以上です。

優秀作品は伯耆しあわせの郷で展示(5月19

日~27日)した他HP上で展示、来年のポス

ター等で使用させていただきます。



今年度最優秀賞
森本すま子さんの作品
タイトル:「花の髪飾り」

しだれ桜の向こうの少女の表情が印象的な作品です。

編集後記

私は普段コンタクトレンズを使用しているのですが、最近レンズの度数が下がったことが思いのほか嬉しく感じているこの頃です。中学生くらいから視力が下がりはじめ、裸眼で1.0あった視力も0.1が見えなくなるまでであったという間でした。普段パソコンで作業することが多いですが、特に数字をもくもくと入力する時は目がとても疲れます。事務所から外を見ると緑がたくさん広がっているの、時々遠くを眺めて目を休ませるようにしています。最近驚くのが、子どもがゲームやスマホの画面を至近距離で見ているのを見かける事がよくあるということですね。ずっとそんな体勢で画面を見ていて目や姿勢は大丈夫だろうかと心配になってきます。デジタル機器に囲まれて生活している中で、私も目の負担が減らせるように、外に出て自然を楽しみながら体を思いっきり動かしてリフレッシュする時間を作っていきたいと思います。